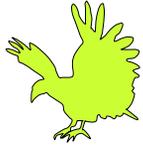


トリ感染症の遺伝子検査を開始しました。

2015年よりトリの遺伝子検査を始めました。トリの臨床において重要な疾患である、**オウム類嘴羽毛病**、**セキセイインコ雛病**、そして**鳥クラミジア症**の病原体をPCR法を用い感度良く検出します。是非、ご利用下さい。

各感染症について



	オウム類嘴羽毛病(Psittacine Beak and Feather Disease: PBF D)	セキセイインコ雛病(Budgerigar Fledgling Disease: BFD)
病原体	サーコウイルス(Circovirus) 羽毛・嘴の細胞に感染するほか、免疫担当細胞に感染し免疫力を脆弱化します。	ポリオーマウイルス(Polyomavirus)
感染経路	糞便や脂粉内に排泄されたウイルスを経口的に摂取することで感染します。	
発生	インコ類・オウム類に感染します。	セキセイインコだけでなく、多くのオウム目鳥での感染が知られています。
症状	慢性感染であることが多いですが、多くの場合、幼鳥の正羽発羽時または換羽時に発症します。発症すると、羽毛の発育不全・形成不全・脱羽、そして嘴形成不全などが起こります。また、免疫力の低下により二次感染を引き起こします。	成鳥では一時的なウイルス血症を起こすものの、発症に至ることは稀です。セキセイインコの幼鳥(10～25日齢)が発症した場合、羽毛異常、皮膚の変色、腹水貯留、肝肥大、小脳感染による頭振などがみられ、致死的な経過をたどります。生存した個体ではPBF Dに類似する羽毛異常がみられ、特に風切羽と尾羽の欠損や未成長がみられますが、臨床現場で遭遇することは多くありません。
治療	抗ウイルス薬は存在しないため、対症療法が中心になります。PBF D感染では二次感染を抑えるため、免疫賦活を目的とした治療を行います。	
検体	血液・羽毛・糞便・クロアカ拭い液が検体となりますが、感染した個体ではウイルス血症であることが多いため、一般的には 血液 が用いられます。	

疾患に関する情報は、**横浜小鳥の病院** 海老沢和荘先生からご提供いただきました。詳しい情報を希望される場合には、横浜小鳥の病院のホームページをご覧ください。
<http://www.avianmedicine.jp/>



株式会社 ケーナインラボ

〒184-0012

東京都小金井市中町2-24-16

農工大・多摩小金井ベンチャーポート302

電話:042-401-2291(代表)

042-401-2294(検査室)

FAX: 042-382-7384

HP: www.canine-lab.jp E-mail: info@canine-lab.jp



検体集荷

株式会社 モノリス

〒182-0012

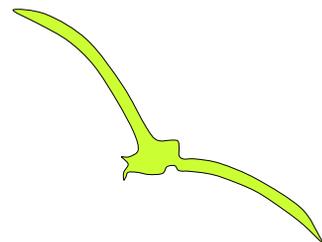
東京都調布市深大寺東町8-31-6

電話:042-443-7200(代表)

042-443-6181/6183(集荷)

FAX: 042-443-6182

鳥クラミジア症



病原体	<i>Chlamydophila psittaci</i>
感染経路	糞便や分泌物の吸入・摂取により感染します。
発生状況	多くの鳥類から分離されていますが、臨床現場では、インコ類、フィンチ類の幼鳥に感染が認められることが多いです。
症状	感染しても発症にいたらない個体も存在します。発症に至った場合には特異的な症状に乏しく、様々な症状が認められます。一般的には眼症状と呼吸器症状が認められますが、必須ではありません。その他、消化器症状・神経症状などが認められることがあります。
治療	テトラサイクリン系の抗生物質が第一選択薬になります。
検体	血液・糞便・クロアカ拭い液が検体となりますが、感染鳥は持続的に糞便中に排菌し、菌血症を起こしているわけではないため、疑いが強い場合には複数回の検査が必要です。

遺伝子検査について

1) 検体

①全血

ヘパリンもしくはEDTA処理した全血を数滴ご用意下さい。

②糞便

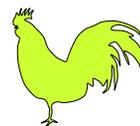
小豆大の糞便をスピッツ管などに入れて下さい。

③羽毛

異常が認められる部位の羽毛をスピッツ管などに入れて下さい。

④拭い液

綿棒で病変部(クロアカ、咽頭など)を拭い、スピッツ管などに入れて下さい。綿棒が長くスピッツ管に入らない場合は、綿棒の先端を切り落として下さい。



2) 検査費用

同じ検体から複数の病原体を検出する場合には、割引価格となります。

詳しくは、お問い合わせください。

3) 報告

検体受け取り後、4~5営業日以内にご報告致します。報告書は郵送・メール・Faxの3種類から選べます。(依頼書にて選択)。

4) 検体集荷

検体集荷は(株)モノリスにお願いしております。モノリスに検体と弊社専用検査依頼表をお渡し下さい。モノリスの集荷範囲外の病院様につきましては、お手数ですが弊社まで直接お送り下さい。

5) 結果報告

検査結果は「陽性」または「検出されず」で報告いたします。「検出されず」は検体中に病原体が存在しない、もしくは検出限界以下を意味します。